

ならしん景気動向調査レポート

(第34回) 2023年 12月期

奈良信用金庫 経営企画本部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2023年12月
2. 調査時点..... 2023年12月
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	37	94.9%
不動産業	17	15	88.2%
サービス業	12	10	83.3%
卸売・小売業	31	31	100.0%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	12	12	100.0%
全業種合計	134	128	95.5%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう134社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、128社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

2023年12月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期比売上	前年同期比収益	残業時間	人材
製造業	39	37	94.9%	13.5%	27.0%	-13.5%	8.1%	40.5%	29.7%	2.7%	-5.4%
不動産業	17	15	88.2%	13.3%	26.7%	33.3%	26.7%	6.7%	26.7%	0.0%	-6.7%
サービス業	12	10	83.3%	10.0%	0.0%	10.0%	-20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	-20.0%
卸売・小売業	31	31	100.0%	9.7%	6.5%	0.0%	-3.2%	0.0%	0.0%	16.1%	-16.1%
建設業	14	14	100.0%	57.1%	78.6%	50.0%	57.1%	35.7%	50.0%	0.0%	7.1%
運輸業	9	9	100.0%	22.2%	22.2%	-22.2%	11.1%	55.6%	-11.1%	0.0%	-22.2%
医療・福祉	12	12	100.0%	0.0%	-8.3%	-16.7%	25.0%	8.3%	0.0%	-8.3%	-16.7%
全業種合計	134	128	95.5%	16.4%	21.9%	3.1%	12.5%	21.1%	17.2%	3.9%	-10.2%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	22	18	14	26		
不動産業	8	7	0	14		
サービス業	6	7	3	10		
卸売・小売業	15	15	6	24		
建設業	5	8	1	12		
運輸業	4	5	5	4		
医療・福祉	3	9	3	9		
全業種合計	63	69	32	99		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	<u>(2) やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	<u>(3) 普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	<u>(4) やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{[(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社]}{[60.0\%]} \right] - \left[\frac{[(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社]}{[20.0\%]} \right] = 40.0\%$$

全体
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
18.3%	16.4%	-1.9%	35.1%	21.9%	-13.2%	17.6%	3.1%	-14.4%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.5%	12.5%	1.0%	42.0%	21.1%	-20.9%	30.5%	17.2%	-13.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-1.5%	3.9%	5.4%	-11.5%	-10.2%	1.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
41.7%	47.7%	6.0%	25.2%	24.4%	-0.8%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より1.9ポイント悪化したものの、良化傾向(16.4%)を維持した。業種によって変化幅に大きな差が出ている。

売上については、DIがプラスの業種が多いものの、前回DIよりも大きく悪化している業種が目立った。

収益面については3.1%と良化傾向は維持しているものの、14.4ポイント悪化している。業況と同様、業種によって前回からの変化幅に大きな差が出ている。

全業種合計の前年同期比売上は20.9ポイント悪化したものの、良化傾向(21.1%)を維持。前年同期比の収益についても13.3ポイント低下したものの、良化傾向(17.2%)を維持した。

経営上の問題点と当面の重点経営施策については、仕入高による経費利益幅の縮小が見られ、経費節減により利益を確保する動きがある。人手不足を課題としている企業は未だ多く、人材確保を重点施策にしている企業が多い。同業者競争の激化が見られる中で販路拡大を図っている企業も多くなっている。

特別調査では、円安進行に伴う資源高・原材料高の影響について企業に回答いただいた。資源高・原材料高への対応について最も回答が多かったのは「一部価格転嫁できている」で55社であった。「多大な影響を受けている」とした企業は前回19社から今回6社へ大幅に減少している。

信用金庫に求めることについては「資金繰り支援(融資スタンス)」を求める企業が60社と最も多く前回とほぼ同様であった。「地域情報」が次点に、次いで「事業課題の共有・相談」があげられている。

借入実施状況については47.7%と前回から6.0%増加に転じる結果となった。なお、設備投資を行ったのは全体の24.4%であり、前回調査から0.8ポイントの低下となった。

今後3ヶ月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より「やや良い」と回答した企業が減少し、「良い」「悪い」と回答した企業がそれぞれ若干ではあるが増加しており、企業によっての差が大きくなっている。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている6社 (2) 全く価格転嫁できていない7社 (3) 一部価格転嫁できている55社 (4) 概ね価格転嫁できている39社 (5) あまり影響を受けていない26社 (6) 今後影響を受ける見込みである4社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援60社 (2) 地域情報45社 (3) 業界動向30社 (4) 事業課題の共有・相談36社 (5) 補助金等の情報24社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング17社 (7) その他1社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」6社、「やや良い」28社、「普通」83社、「やや悪い」12社、「悪い」4社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」5社、「やや良い」30社、「普通」83社、「やや悪い」11社、「悪い」4社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」5社、「やや良い」26社、「普通」84社、「やや悪い」15社、「悪い」3社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

製造業	対象先 39	回答先 37	回答率 94.9%
------------	--------	--------	-----------

**業種別
調査結果**

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
28.9%	13.5%	-15.4%	39.5%	27.0%	-12.4%	21.1%	-13.5%	-34.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
2.6%	8.1%	5.5%	44.7%	40.5%	-4.2%	23.7%	29.7%	6.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
5.3%	2.7%	-2.6%	-7.9%	-5.4%	2.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
36.8%	55.0%	18.2%	39.5%	35.0%	-4.5%			

■概況 ※()内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時より15.4ポイント低下したものの、良化傾向(13.5%)を維持した。売上金額については12.4ポイント低下したものの、前回同様に良化傾向(27.0%)を維持。原材料価格についても前回調査時と比較して6.3ポイント改善したものの、悪化傾向(-59.5%)を維持した。収益に関して、前回比で34.6ポイント低下し、悪化傾向(-13.5%)に転じた。

資金繰りについては前回調査時より5.5ポイント上昇し、良化傾向(2.7%)を維持した。なお、借入によって資金調達を行った先は全体の55.0%であり、前回より増加した。

前年同期比売上は前回より4.2ポイント低下したものの、良化傾向(40.5%)を維持。また、同収益は前回調査時より6.0ポイント増加となり、良化傾向(29.7%)を維持。残業時間については前回から2.6ポイント低下したものの、良化傾向(2.7%)を維持。人材については2.5ポイント改善したものの、悪化傾向(-5.4%)を維持した。なお、設備投資を行った先は全体の35.0%で、前回より4.5ポイント減少している。

■経営上の問題点

前回調査と同様に、「原材料高騰」が26社で最も多く、次点で「利益幅の縮小」が13社、「売上停滞・減少」が11社と続いた。

■当面の重点経営施策

重点経営施策としては「販路拡大」が16社と最も多かった。次いで「経費削減」が15社、「人材確保」が10社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている2社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている23社 (4) 概ね価格転嫁できている15社 (5) あまり影響を受けていない0社 (6) 今後影響を受ける見込みである1社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援22社 (2) 地域情報12社 (3) 業界動向12社 (4) 事業課題の共有・相談14社 (5) 補助金等の情報8社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング3社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」4社、「やや良い」7社、「普通」19社、「やや悪い」8社、「悪い」2社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」9社、「普通」19社、「やや悪い」7社、「悪い」2社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」8社、「普通」20社、「やや悪い」8社、「悪い」1社

業況・売上額・受注残高に関してはプラスになっているものの前回調査時よりは悪化している。原材料価格については前回より若干改善しているものの▲59.5%という結果であり、原材料高の影響による収益の悪化がみられる。他業種と比較し、【今後3ヶ月間の業績見込み】にバラつきが見られることが特徴としてでている。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
31.3%	13.3%	-17.9%	50.0%	26.7%	-23.3%	37.5%	33.3%	-4.2%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
31.3%	26.7%	-4.6%	50.0%	6.7%	-43.3%	56.3%	26.7%	-29.6%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
6.3%	0.0%	-6.3%	-6.3%	-6.7%	-0.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
46.7%	53.3%	6.7%	6.7%	0.0%	-6.7%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より17.9ポイント低下したものの、良化傾向(13.3%)を維持。売上についても23.3ポイント低下したものの、良化傾向(26.7%)を維持。収益に関して4.2ポイント低下したものの、良化傾向(33.3%)を維持。

資金繰りについては4.6ポイント低下したものの、良化傾向(26.7%)を維持した。借入によって資金調達を行った先は全体の53.3%であり、6.7%上昇した。

前年同期比売上は43.3ポイント低下したものの、良化傾向(6.7%)を維持した。同収益については、29.6ポイント低下し、良化傾向(26.7%)を維持した。残業時間については前回調査時から6.3%低下し、中立に転じた。人材については0.4ポイント低下し、悪化傾向(-6.7%)を維持。設備投資実施企業は前回調査時と比べ6.7%低下し、中立に転じた。

■経営上の問題点

経営課題としては、「同業者競争の激化」が6社と最も多く、「経費の増加」が4社で続いた。

■当面の重点経営施策

当面の対策は「情報力の強化」が最も多く「販路拡大」が次点に続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている1社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている4社 (4) 概ね価格転嫁できている3社 (5) あまり影響を受けていない7社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援5社 (2) 地域情報9社 (3) 業界動向3社 (4) 事業課題の共有・相談2社 (5) 補助金等の情報1社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」13社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」13社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」13社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
<p>不動産業は業況・売上・収益DIIに関しては全ての項目でプラスではあるが、前回DIよりは悪化している。前年同期比では売上DIが6.7%と前回比▲43.3%、収益DIが26.7%と前回比▲29.6%と大きく悪化している。</p> <p>「同業者競争の激化」を経営上の課題としており、その対策として重点施策に「情報力の強化」を、信用金庫に求めることとして「地域情報」をあげている企業が多くなっている。</p>	

サービス業	対象先 12	回答先 10	回答率 83.3%
-------	--------	--------	-----------

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-16.7%	10.0%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	-16.7%	10.0%	26.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-41.7%	-20.0%	21.7%	50.0%	0.0%	-50.0%	41.7%	10.0%	-31.7%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-8.3%	0.0%	8.3%	-16.7%	-20.0%	-3.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
58.3%	46.2%	-12.2%	33.3%	23.1%	-10.3%			

■概況 ※()内はDI値
 医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から26.7ポイント上昇し、
 良化傾向(10.0%)に転じた。
 売上金額については横ばいに推移し、中立を維持。
 収益についても26.7ポイント上昇し、良化傾向(10.0%)に転じた。
 一方で材料価格については58.3ポイント低下し、中立に転じた。

前年同期比売上は前回調査時から50.0ポイント低下し、中立に転じた。
 同収益については31.7ポイント低下したものの、良化傾向(10.0%)を維持した。
 人材については3.3ポイント低下し、悪化傾向(-20.0%)を維持した。
 一方で、残業時間については8.3ポイント上昇し、中立に転じた。

借入によって資金調達を行った先は全体の46.2%であり、前回より12.2ポイント低下した。
 設備投資を行った先は全体の23.1%であり、前回調査時より10.3ポイント低下した。

■経営上の問題点
 「売上停滞・減少」「利益幅の縮小」「人手不足」が6社で最も多かった。

■当面の重点経営施策
 「販路拡大」が7社で最も多く、次いで「経費削減」が6社、「人材確保」が5社で続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている2社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている4社 (4) 概ね価格転嫁できている2社 (5) あまり影響を受けていない5社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援4社 (2) 地域情報4社 (3) 業界動向1社 (4) 事業課題の共有・相談3社 (5) 補助金等の情報6社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング4社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」6社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」3社、「悪い」0社

業況・収益DIは前回比26.7%改善し10.0%とプラスへ転嫁。売上DIは前回同様0.0%であった。
 前回調査時は、材料価格項目DIが▲58.3%であったが、今回0.0%に改善し「仕入れ高」を経営上の問
 題点としている企業は1社のみ減少している。粗利は改善している反面、「経費節減」を重点施策とし
 「利益幅の縮小」を問題点としている企業が多く、円安による資源高の影響でコスト(販管費)が増加して
 いるようである。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-13.3%	9.7%	23.0%	16.7%	6.5%	-10.2%	3.3%	0.0%	-3.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-3.3%	-3.2%	0.1%	33.3%	0.0%	-33.3%	23.3%	0.0%	-23.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-10.0%	16.1%	26.1%	-6.7%	-16.1%	-9.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
35.7%	50.0%	14.3%	14.3%	20.0%	5.7%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時から23.0%上昇し、良化傾向(9.7%)に転じた。売上に関しては10.2ポイント低下したものの、良化傾向(6.5%)を維持。収益については3.3ポイント低下し、中立に転じた。仕入れ価格については、前回調査時より7.7ポイント上昇したものの、悪化傾向(-32.3%)を維持した。在庫については前回比で7.3ポイント上昇したものの、悪化傾向を維持した。

前年同期比売上については33.3ポイント低下し、中立に転じた。

また、同収益についても23.3%低下し、中立となった。

人材については前回から9.5ポイント低下した。

残業時間については前回調査時より26.1ポイント上昇し、良化傾向(16.1%)に転じた。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の50.0%でほぼ横ばいとなった。

設備投資割合については、前回調査時より5.7%上昇した。

■経営上の問題点

前回調査時と同様に「材料高」が13社で最も多く、次点に「売上停滞・減少」が8社と続いた。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」が12社で最も多く、次点は「資金繰り安定」が8社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている0社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている13社 (4) 概ね価格転嫁できている8社 (5) あまり影響を受けていない6社 (6) 今後影響を受ける見込みである2社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援16社 (2) 地域情報8社 (3) 業界動向2社 (4) 事業課題の共有・相談8社 (5) 補助金等の情報5社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング8社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」25社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」24社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」24社、「やや悪い」1社、「悪い」1社

業況DIは9.7%と前回より23.0%改善しているものの、売上・収益においては前回調査時より悪化。販売価格は19.4%と6.0%改善、仕入れ価格は▲32.3%ながら前回よりは7.7%改善している。円安による資源高・原材料高の影響について、価格転嫁はできてきつつあるものの、収益をカバーできるではない様子が見て取れる。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
71.4%	57.1%	-14.3%	85.7%	78.6%	-7.1%	64.3%	50.0%	-14.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
78.6%	57.1%	-21.4%	57.1%	35.7%	-21.4%	42.9%	50.0%	7.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
57.1%	38.5%	-18.7%	14.3%	7.7%	-6.6%			

■概況 ※()内はDI値
 建設業全体の業況判断DIは前回調査時から14.3ポイント低下したものの、良化傾向(57.1%)を維持した。
 売上金額についても7.1ポイント低下したものの良化傾向(78.6%)を維持。
 受注残高は前回調査時よりも21.4%減少したものの、良化傾向(50.0%)を維持した。
 収益についても、前回調査時から14.3%低下したものの、良化傾向(50.0%)を維持した。

資金繰りについても、前回から21.4%低下したものの、良化傾向(57.1%)を維持した。
 前年同期比売上は前回から21.4%低下したものの、良化傾向(35.7%)を維持した。
 同収益については、前回調査時から7.1ポイント上昇し、良化傾向(50.0%)を維持した。

残業時間については前回から横ばいに推移し、中立を維持。
 人材についても前回調査時から7.1ポイント上昇し、良化傾向(7.1%)に転じた。
 借入により資金調達を行った先は38.5%であり、前回調査時から18.7%減少。

■経営上の問題点
 「原材料高」「人手不足」とする企業が6社あり、次いで「同業者競争の激化」が5社となった。

■当面の重点経営施策
 「販路拡大」「人材確保」が6社で最も多く、次点で「社員教育」が4社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている0社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている3社 (4) 概ね価格転嫁できている7社 (5) あまり影響を受けていない4社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援3社 (2) 地域情報6社 (3) 業界動向8社 (4) 事業課題の共有・相談3社 (5) 補助金等の情報1社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」5社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」5社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
業況・売上・収益DIにおいて全て50%以上を維持しているものの、全て前回調査時よりは悪化している。 前回調査時と逆で前年同月比売上のポイントが減少している一方で、同収益のポイントは上昇している。 【経営上の問題点】【当面の重点経営施策】から、「人手不足」により「人材確保」と「社員教育」、「同業者競争の激化」の中で「販路拡大」を目指している企業が多くなっている。 また、円安による資源・原材料高の影響について、価格転嫁ができていない状況となっているが、それでも原材料価格の悪化が収益にマイナス影響を与える状況が続いている状況である。	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
22.2%	22.2%	0.0%	33.3%	22.2%	-11.1%	11.1%	-22.2%	-33.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	11.1%	11.1%	33.3%	55.6%	22.2%	33.3%	-11.1%	-44.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	0.0%	0.0%	-33.3%	-22.2%	11.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
33.3%	44.4%	11.1%	22.2%	55.6%	33.3%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より横ばい推移し、良化傾向(22.2%)を維持。

売上金額は11.1%低下したものの、良化傾向(22.2%)を維持。

収益については33.3%低下し、悪化傾向(-22.2%)に転じた。

資金繰りについても前回調査時より11.1%上昇し、良化傾向(11.1%)に転じた。

借入によって資金調達を行った先は前回より11.1%増加した。

前年同期比売上は前回より22.2ポイント上昇し、良化傾向(55.6%)を維持した。

同収益については、44.4ポイント低下し、悪化傾向(-11.1%)に転じた。

人材については11.1ポイント上昇したものの、悪化傾向(-22.2%)を維持した。

残業時間については、前回調査時から横ばいに推移している。

■経営上の問題点

「同業者競争の激化」が最も多く6社となっており、次点に「経費の増加」が5社で続いた。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」「人材確保」が4社と最も多く、次点で「経費削減」「料金調整」が3社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1)多大な影響を受けている0社 (2)全く価格転嫁できていない1社 (3)一部価格転嫁できている5社 (4)概ね価格転嫁できている1社 (5)あまり影響を受けていない1社 (6)今後影響を受ける見込みである1社
信用金庫に求めること	(1)資金繰り支援4社 (2)地域情報1社 (3)業界動向4社 (4)事業課題の共有・相談3社 (5)補助金等の情報1社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他1社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」3社、「やや悪い」2社、「悪い」1社

業況・売上・収益DIの全項目において、プラスを維持しているものの、売上・収益DIは前回から悪化している。前年同期比売上額は55.6%と前回DIより22.2%改善しているが、同収益DIは▲11.1%と前回比▲44.4%悪化。前年同期比景気回復による物流量の増加と一部価格転嫁が進んでいるものの、「同業者競争の激化(6件)」と「経費増加(5件)」が要因で収益としては厳しい状況となっている。

【当面の重点経営施策】を「販路拡大」「人材確保」としている企業が4社、【信用金庫に求めること】を「資金繰り支援」「業界動向」としている企業が4社あった。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.7%	0.0%	-16.7%	25.0%	-8.3%	-33.3%	0.0%	-16.7%	-16.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
33.3%	25.0%	-8.3%	25.0%	8.3%	-16.7%	8.3%	0.0%	-8.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-8.3%	-8.3%	0.0%	-33.3%	-16.7%	16.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
36.4%	25.0%	-11.4%	36.4%	25.0%	-11.4%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査から16.7ポイント低下し、中立に転じた。
 売上金額についても同様に33.3ポイントと大幅に低下し、悪化傾向(-8.3%)に転じた。
 ベット稼働率について横ばい推移し、良化傾向(25.0%)を維持。
 通院者数については前回から41.7ポイント低下し、悪化傾向(-8.3%)に転じた。
 収益についても前回調査より16.7ポイント低下し、悪化傾向(-16.7%)に転じた。

資金繰りについては8.3ポイント低下したものの、良化傾向(25.0%)を維持。
 借入によって資金調達を行った先は全体の25.0%であり、前回から11.4ポイントの低下となった。
 設備投資を行った先は25.0%と前回より11.4ポイント低下となった。

前年同期比売上は前回調査時から16.7ポイント低下したものの、良化傾向(8.3%)を維持。
 同収益については、8.3ポイント低下し、中立に転じた。
 残業時間は前回から横ばいに推移し、悪化傾向(-8.3%)を維持した。
 人材については前回から16.7ポイント上昇したものの、悪化傾向(-16.7%)を維持。

■経営上の問題点

前回と同様に「人手不足」が最も多く6社であった。次点で「人件費の増加」「経費の増加」「売上停滞・減少」「同業者競争の激化」がそれぞれ3社で続いた。

■当面の重点経営施策

前回と同様に「人材確保」が11社で最も多く、次点で「経費削減」が4社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている1社 (2) 全く価格転嫁できていない2社 (3) 一部価格転嫁できている3社 (4) 概ね価格転嫁できている3社 (5) あまり影響を受けていない0社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援6社 (2) 地域情報5社 (3) 業界動向0社 (4) 事業課題の共有・相談3社 (5) 補助金等の情報2社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」8社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」8社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」8社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況・収益・売上DIにおいて低下しており、中でも売上においては▲33.3ポイントと大幅に減少し、悪化傾向に転じている。売上の内訳としてベッド稼働は25.0%と前回から変動ないが、通院者数が▲8.3%と前回より▲41.7%悪化している。
 人材DIは前回調査時より16.7ポイント改善しているものの、悪化傾向を維持。前回調査同様、「人手不足」が経営上の問題点としてあげられている。
 信用金庫に求めることとして「地域情報」という回答が最も多くあった。